

会報

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 平成10年10月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 財団法人日本太鼓連盟

副会長 塩見 和子 Tel.03-3580-9536 Fax.03-3580-8322

第2回評議員会・第3回理事会を開催 —平成11年度事業計画・収支予算を審議—

平成11年度の事業計画及び収支予算を審議するために、(財)日本太鼓連盟の第2回評議員会と第3回理事会が去る9月4日に東京で開催された。

評議員会は、吉野会長の挨拶に続き議長の出任に移り、出席者の互選により岩手の河野和義評議員が議長となつて議事に入った。なお、併せて同氏を今期中の評議員会議長として選任した。

議題は、理事会で諮る前に審議しておかなければならないこととなっている平成11年度事業計画並びに収支予算を審議した。評議員会の後、理事の方々を交えて昼食会が和やかな雰囲気で行われた。

昼食の後は、理事会に移り評議員会において承認された平成11年度の事業計画及び収支予算並びに日本財団への補助金・助成金の交付申請を諮り、原案通り可決承認された。

なお、事業計画及び収支予算が理事会で決定されたのを受けて日本財団に対して平成11年度助成金及び補助金の交付申請を行った。正式に交付金額が確定するのは、日本財団の査定等の手続きを経た後である。

日本財団平成11年度交付申請内容

助成金申請額(運営費等)	103,200,000円
補助金申請額(事業費)	56,700,000円
「日本太鼓の育成」	2,400,000円
「日本太鼓文化の振興」	54,300,000円

第4回運営委員会を開催

平成10年10月15日(木)東京・虎ノ門の船舶振興ビルで委任状を含め12名の委員全員が出席して第4回運営委員会が開催された。冒頭、財団を代表して塩見副会長より挨拶があり、引き続き塩見委員長が議長となり、次のような報告と検討を行った。

議題1「総務について」

- 平成11年度の会費収入約1,000万円は、総予算額の1億8,600万円に対し5%程度であり、その支出の内容は、会員に関する経費だけで2,000万円になる。従って、人件費や事務所の借室料等運営上必要な経費は、一切含まれていない。この実状を各会員に周知願いたい。また、財団法人になったことで従前以上に会費及びその他の支出に対して公正、透明性が求められることを再認識していただきたい。
- 会員のメリットについて資料を基に説明し、各委員が各ブロックに周知し、支部がそれぞれ会員確保に

役立てることとした。また、支部未組織の県に対する支部設立計画案を策定し、次の運営委員会で検討することとした。

- 支部開設届が未提出の県が多く、会費も未納が多く憂慮される。また、各団体の入会申込も同様に未提出が多いので、支部事務局体制の確立を目指すほか、運営委員が選出ブロックの支部に対して周知徹底を図り、各支部が責任をもって対応することとした。また、会費の納入を含めて全ての提出日の締切を厳守するよう併せて徹底することとした。

議題2「事業について」

- 日本太鼓助成事業の第一期申請が6事業あり、これを検討の結果、今年度については申請内容が規程に合致しているので全て承認する。なお、次年度以降については交付内容のガイドラインを定める旨の意見が出され、次の運営委員会で検討することとした。
- 11月1日(日)に鳥根県出雲ドームで行われる第2回日本太鼓全国フェスティバルの準備が順調に進んでいる旨の説明を行った。
- 平成11年3月21日(日)石川県のサンアリーナ川北で行われる第1回日本太鼓子供コンクールは、自治大臣杯を申請していることを報告し、現在作成中の審査要項等については12月の技術委員会で検討することとした。また、予選の参加団体数により出場数を増やしてはどうかとの提案があり検討したが、これまでの経緯から県代表は1団体とした。但し、開催県については集客面を配慮し、県代表のほか開催地の団体を出場させる方向で別途考慮することとした。さらに、委員から出場団体が確定した場合、地元自治体に財団から出場依頼書を送付する旨の要請があり、事務局において対応することとした。
- 10月24・25日に長野県穂高町で開催する第3回日本太鼓全国講習会の応募状況の説明を行った。
- 日本太鼓実態調査事業の調査の開始と、回答状況の説明を行った。
- 国際交流事業について、中米の報告と併せて今後の予定の説明を行った。
- 日本太鼓資格認定事業に関し、公認指導員の推薦があったので12月の技術委員会を経て検討することとした。
- 会報の内容を充実させるために、委員にも寄稿の協力要請をお願いした。

議題3「その他」

次の報告を行った。

- 支部旗を作成し、事業開催地の支部から配付する。(すでに鹿児島、長野には配付済。)
- 太鼓の葉書が完成したので有効利用されたい。

◆ 日本太鼓が中米に鳴り響く ◆

ー キューバ・コスタリカ・ニューオリンズ公演 ー



● 笹川良一会長の胸像前での太鼓演奏（コスタリカ・国連平和大学）

国際交流基金が日本文化の紹介を目的にキューバ、コスタリカ、米国（ニューオリンズ）で日本太鼓の公演を実施することとなり、同基金の要請を受けて大分県のゆふいん源流太鼓（長谷川義代表以下6名）が9月18日から10月7日まで3週間にわたる海外公演を行った。

キューバの公演は、首都ハバナ市の旧市街にあるアンフィ・テアトロ劇場（円形野外劇場）での公演から始まった。到着早々、別便で到着した大太鼓を含めて梱包を解いたところ湿気の影響からかボコボコで音にならない状態、早速太鼓の調整から始めた。午後7時に公演が開始、一行の熱演が観客の心をとらえ大歓声のうちに終了した。このほかキューバの芸術家を養成する国立芸術学院では教授や学生を対象に公演とワークショップを行い塩見副会長の絶妙な司会と相俟って大好評だった。また旧市街のヘミングウェイが愛用していたホテルの近くにある公園（世界遺産に指定）でも演奏し一般市民に対して幅広い交流を行った。

次の公演地、コスタリカは北米と南米を結ぶ細い陸続きの国。パナマ運河の北に位置し、この時期は午前中は快晴で午後は毎日がスコールという雨期のまった中。首都サン・ホセにある国立体育館での公演をはじめ、カルタゴ市役所前の公園や交響楽団付属学校で演奏やワークショップを行った。

なかでも特筆すべきは、平和大学にある笹川良一会長の胸像前での演奏。長谷川氏の追悼太鼓に続き塩見副会長が法人化のお礼を述べ、折から集まった聴衆も交え関係者全員で献杯した。雨も心配されたがさすが笹川会長の神通力は健在、晴天のもとで予定通り行われた。

最後の公演地は米国南部の都市ニューオーリンズ。ジャズの本場だけあって、街中ジャズに溢れていた。ニューオーリンズでは、総領事館のメインイベントである日本・ルイジアナ秋祭りや日本・南部会が開催されており、これに出演したほか4大学、1高校やニューオーリンズセンターでも公演やワークショップを行った。多いところでは1日3公演と少々ハードな日程にもかかわらず各所で熱演していた。

今回は、国際交流基金から今井氏が同行された。同氏には日程や太鼓を含めた航空会社との調整から太鼓の移動の手伝いまで、チームの一員となってお尽力いただいた。

3週間に亘る公演は想像以上に長く感じた。幸い今回は、各地において大使館や総領事館の皆さんのご好意で日本人の口に合うレストランを紹介していただく等ご協力いただいたが、体調を維持して行くため、相当な努力が必要であることを痛感させられた。また、今回の最大の敵は、暑さと太鼓の搬送であった。公演地の3ヶ国は正に太陽の真下、炎天下での野外公演は頭から水をかぶりながらの文字どおりの熱演であった。また、大太鼓が積めない飛行機で移動するため3ヶ国全てに別送となった。同行の浅野太鼓店・浅野義幸社長には大太鼓3基をはじめ、各種の太鼓の提供や、太鼓の梱包等にも大変な協力をいただいた。余談になるが折から130キロのハリケーンが襲来したが、我々がキューバからコスタリカへ移動した翌日キューバに上陸するなど、好運にも恵まれた一面もあった。

<日程>

- 9 / 18(金) 成田出発カナダ経由
- 19(土) キューバ・ハバナ着
- 20(日) 公演(アンフィ・テアトロ劇場)
- 21(月) 大使歓迎レセプション(大使公邸)
- 22(火) 公演(国立芸術学院)
- 24(木) ハバナ発コスタリカ(サン・ホセ)着
- テレビ出演
- 25(金) 公演(国立体育館)
- 26(土) 特別公演(平和大学)
- 27(日) 公演(カルタゴ市役所前)
- 29(火) コスタリカ発ニューオーリンズ着
- 10 / 1(木) 公演(エписコーパル学園／ルイジアナ州立大学／日本・南部会会場)
- 2(金) テレビ出演
- 公演(ニューオーリンズセンター)
- 3(土) 公演(日本・ルイジアナ秋祭開会式)
- 4(日) 公演(チューレーン大学)
- 5(月) 公演(ディラード大学)
- 公演(ニューオーリンズ大学)
- 6(火) ニューオーリンズ発
- 7(水) 東京着

<派遣メンバー>

塩見和子((財)日本太鼓連盟副会長)
 浅野義幸((財)日本太鼓連盟理事)
 ゆふいん源流太鼓
 長谷川義(代表)、佐藤貢一、河野勝己、富永希一、坂口勝、由木正樹、
 このほか国際交流基金より今井隆志氏、事務局より大澤和彦が同行した。

◆ 子供コンクール予選会各地で始まる ◆

来年の3月21日(日)に石川県川北町のサンアリーナ川北で開催を予定している第1回日本太鼓子供コンクール(日本財団補助事業)の支部大会(予選)が各県で始まった。今回は第1回目のため、支部代表の選出方法は県により異なるが、参加の多い県は予選を実施することとなった。また、支部のない県等の推薦については12月開催予定の技術委員会で決定することとなるため参加希望の特別会員(支部のない県に限る)は大至急財団事務局までお問い合わせ下さい。

なお、本大会の参加資格等は次のとおり。

①高校生までの同一県に居住又は通学する団体

②演奏人数は15名以内(男女不問)

演奏は、1団体5分以内とする。

(課題曲1分程度・自由曲4分程度)

審査は、財団が委嘱した審査委員により行う。

表彰は、優勝及び第5位まで表彰する。

第1回日本太鼓子供コンクール長野県予選

長野県太鼓連盟技術部 技術部長 松枝 明美

9月20日岡谷市民会館において日本太鼓子供コンクール長野県大会(予選)が行われた。

長野市、上田市、戸倉町、穂高町、松川町を代表する5団体が出場、課題曲と自由曲でそれぞれ優勝を競った。優勝したのは、鎧の衣装で登場した信州上田真田陣太鼓。審査員は県連の正副会長と理事長、そして県内の1級から3級までの公認指導員があたった。いつになく厳しい表情で採点表に書き込む姿が見受けられた。子供達も審査員を目の前にして、普段の演奏会とは違う緊張感が漂っていた。

会場には子供達の姿を見ようと父兄を始め一般市民も集まり、熱い眼差し、拍手を贈っていた。

結果発表の瞬間の子供達の表情は様々であった。優勝できなかったチームは次への闘志を溢れさせ、そして優勝チームにエールを贈っていた。優勝チームの子供達は「全国大会で絶対優勝してきます。」と力強くコメントを残した。

子供とは思えないパチさばき、柔らかさは、審査員も大いに勉強させられたと思う。

本大会まで5ヶ月、悔いを残さず全国大会優勝に向けて力一杯頑張りたいと思います。



●第1回日本太鼓子供コンクール長野県大会

第1回日本太鼓子供コンクール石川県予選

石川県太鼓連盟 事務局長 得能 力知

日本太鼓子供コンクールの石川県大会が平成10年10月4日、美川町文化会館で石川県内の子ども太鼓チーム12団体が出演して行われました。

当日は久々の晴天で開演前には親子連れが大勢詰めかけて満員となりました。各チーム持ち時間3分以内の演奏で真剣に太鼓を打ち込んでいました。

開会式には各チームのプラカードを持ち、出演者代表による宣誓もあり緊張も高まったようです。しかし、子供の出演者よりも舞台脇の親たちが緊張していたのが印象的でした。

審査も充分公平を期し、結果を出すのに時間を費やしました。評価点数は僅差でしたが、下記のように決まりました。

最優秀賞	チビッコ九谷太鼓
優秀賞	福留じょんがら太鼓雷童
入賞	風雅、手取亢龍太鼓若鮎組、大場渦乃太鼓若鮎会

最優秀賞のチビッコ九谷太鼓は本大会に向けて本格練習を開始しました。このコンクールを機会に子供達に和太鼓を始めるチームも出てきました。11月3日に開かれる子供太鼓大会にも多くの参加出演があり今後を楽しみにしています。

本大会の準備の方も進めています。日本全国の関係者のご協力をよろしくお願いいたします。来年3月21日気持ち良くお迎えしたいと思います。



●第1回日本太鼓子供コンクール石川県大会

支部大会優勝団体(全国大会出場)

長野	信州上田真田陣太鼓
石川	チビッコ九谷太鼓
静岡	富岳わんぱく太鼓

支部推薦出場団体(全国大会出場)

秋田	大曲太鼓道場Jr.
宮城	米山丸山太鼓
福島	原町町立原町第一小学校九曜太鼓部
茨城	下館若囃太鼓会
埼玉	無形文化財秩父屋台囃子保存会(秩父社中)
神奈川	相州海老名東柏太鼓
京都	大和の響き「京」
佐賀	小城太鼓小天狗

支部大会実施予定

大分	平成10年11月1日(日)大分県芸術会館
千葉	平成10年11月14日(土)銚子市体育館

◆ 各地の太鼓チームが活躍 ◆

－ 演奏活動の世界が広がる －

昨年11月11日、文部大臣の許可を得て、財団法人日本太鼓連盟が設立されてから今年11月で早1年を過ぎようとしています。今日では、日本太鼓連盟の支部が29道府県、加盟団体数は700チームを上回り、構成員も2万人を超えております。当財団といたしましては、未組織都府県の支部設立を関係者の協力を得て計画的にお願いしてまいりたいと考えております。また、団体の加盟を促すため、会員になることのメリットを明確化し各支部を始め関係先をお願いしていきたいと思っております。最近、国や地方自治体並びに関係団体が実施する各種催事、更には国際交流を目的とする機関が実施する日本文化交流等のための日本太鼓演奏依頼が増えてきております。また、当財団の支部並びに関係団体が日本太鼓の普及、振興を図るために実施する演奏会等の事業に対して積極的に後援を行っております。

このような状況の中、当財団の会員であるチームが各地で活躍し、好評を博しております。

北欧の空にこだまする秩父屋台囃子

秩父屋台囃子保存会

会長 高橋 利雄

去る5月9・10日スウェーデンのストックホルムにおいて正統秩父屋台囃子を披露し、皇室、市民に深い感銘を与えることができました。これは、EUジャパンフェスト委員会より、本年度の欧州文化主都ストックホルムでの開幕として太鼓を打って欲しいとの依頼があり実現したものです。今回は特に秩父祭の再現を望まれ、国の重要民俗文化財の一つである秩父の六町会全ての保存会が勢揃いをしましたが、このような公演は始めてのことです。

大江戸花火数千発の打ち上げと共に豪快なこのお囃子連打の共演は素晴らしいものでした。4回の出演中、特にセルゲル広場では1時間の公演中観衆は増えるばかりで「1万人からの市民が感動した。」と新聞で報じられました。その理由は、私達の最も重点を置いている各町会や個人の特色ある技法・打法が表現されていたと云うことです。3百年から続いているこのお囃子を六町会が順に打っていく様は見事で、即興性のある速くて豪快な大太鼓、細かなリズムミカルな「玉入れ」等伝統のある日本太鼓を心ゆくまで聞いてもらいました。微妙に打ち方の違うアドリブは近代性があり、文化水準の高いスウェーデンの人達に感銘を与えたことは確かです。

私達は、このことを大切に、更に伝統文化を守り、後世に伝えて行きたいと思っております。



●秩父屋台囃子保存会

第11回水心会夏祭りに協力

平成10年9月4日(金)に東京・船の科学館に隣接する羊蹄丸において水心会が毎年恒例で開催している「夏祭り」が行われました。水心会は日本財団や全国モーターボート競走会連合会などの関連35団体から構成されているもので、会員に昨今の太鼓の素晴らしさをみせたいとの要望を受けたものです。連盟としてもご協力、ご支援いただいた関係団体へのお礼の意味を含めて東京の「助六太鼓」に出演を要請しました。

夏らしく羊蹄丸のデッキで開会式が行われることとなりました。太鼓の演奏から始まり、蔭山幸夫水心会幹事長、日本財団笹川陽平理事長の挨拶に続き懇親会に移りました。しばしの懇談の後、太鼓が再び登場、江戸を代表する粋でいなせな演奏は、400名を超える出席者に対し、深いインパクトを与え、非常に好評でした。

福井県太鼓連盟創立記念大会を開催

福井県太鼓連盟 会長 高橋 秀行

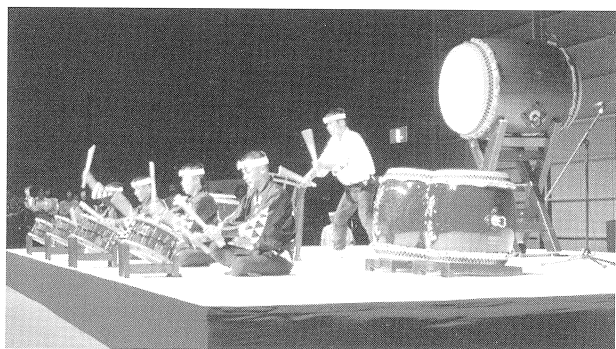
これまで活動していた福井県太鼓協会が解散し、新たな組織として福井県太鼓連盟が発足いたしました。平成10年9月13日(日)にその設立を記念した「福井の太鼓」を福井県鯖江市文化センターで行いました。連盟からの17チームに加え富山、石川からそれぞれ客演として出場いただき、19チームによる合同公演でした。会場には、開場と同時に立ち見席もでるほど大勢の皆様が「福井の太鼓」を一目見ようとかけつけて下さいました。1チームに与えられた7分間という短い時間の中で観客席からの拍手と声援に励まされ、それぞれのチームが持てる力一杯に技術も「心」も叩き尽くしました。

19チームがそれぞれの裏方の役割をスムーズにこなし、観客の皆様が飽きのこないステージ展開を工夫し、舞台と客席が一体となって、あっという間の3時間でした。初めての連盟公演としては大成功の内に幕を下ろすことができました。

互いに磨き合い、また親睦を深めながら「福井の太鼓連盟」を盛り立てていく自信も持てました。

これからも、益々皆様に喜んでいただける太鼓をお聞かせできるよう各チームが、がんばってゆく決意です。

第3回国際看護学会学術集会に協力



●ゆふいん源流太鼓

平成10年9月17日(木)に、東京フォーラムにおいて第3回国際看護学会学術集会が行われました。これは、世界各国からの看護関係者を対象とした学術的な集会で、会議の後の懇親会に日本文化を代表するものとして日本太鼓の演奏を聞かせたいとの要望を受けたものです。折から国際交流事業として18日に出発を控えている「ゆふいん源流太鼓」の皆さんに1日早く上京し、出演していただきました。

懇親会も進み、いよいよ太鼓の登場となりました。塩見副会長が英語でチームを紹介されると、海外公演用に準備した抱え太鼓を叩きながらの入場にビックリ。海外からの皆さんも含め300名を超える出席者は、食事をするのも忘れカメラ片手に演奏に聞き入っていました。

ドイツ学園祭に太鼓出演

相州海老名東柏太鼓

会長 島田 健次

10月10日の体育の日に神奈川県横浜市のドイツ学園で行われた学園祭に出演してまいりました。

まず、日本の学校より良い設備に驚かされました。第1部は午後1時30分から15分間、少年部による「三宅太鼓」と青年部による「祝面太鼓」を演奏し、和太鼓に興味をもっていただけるように工夫しました。第2部は2時45分から30分間の演奏、少年部の飛龍三段返しに始まり、ミニ太鼓教室を開いたところ、大勢の生徒や父兄が参加してくれました。中でも校長先生がとても楽しそうに叩かれていたのが印象的でした。その後、青年部が2曲演奏して終了しました。帰る際に校長先生から非常に良かったとお誉めの言葉をいただき嬉しく思いました。



●ドイツ学園での揃い打ち

スポレクぎふ'98 岐阜県太鼓連盟350人が出演

岐阜県太鼓連盟事務局

生涯スポーツの祭典である「第11回全国スポーツ・レクリエーション祭」の総合開会式が平成10年10月3日(日)に、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で大会史上最多となる2万3千人の選手団を迎えて行われた。アトラクションでは「21世紀への元気宣言～みんなの元気は、地球の元気～」をテーマに、地元岐阜の出演者約5800人が躍動感あふれる集団演技を披露し、スタンドを埋めた選手や観客らと触れ合いの輪を広げた。

岐阜県太鼓連盟は昨年この開会式への出演依頼を受け、今年に入り出演者13団体350人を決定した。岐阜県を代表する中山太鼓の踊りながら太鼓を打ち鳴らす「神囃し」を選曲し、本年4月より練習に励んだ。全員が一同に練習することが難しく、各ブロックで練習し8月に最初の全体総合練習を行ったが、一体になれなかった。このため本場「中山太鼓」のメンバー15名が各地区へ指導に向かい猛練習が始まった。その結果9月に行った総合リハーサルでは見違えるような出来映えになり、本番では「ぎふの元気をみんなへ」を合い言葉に、元気な踊りと演奏を披露することができた。

岐阜の県花「れんげ」を模った8つの輪、さらに6尺太鼓を中心に3基の太鼓が鳴り響く中、小学生1年生から高齢者までの幅広い年齢層による演技に観客の目を引きつけた。わずか4分間の出演に費やした不安と緊張の1年間であったが、連盟発足以来の大イベントに参加者全員がやり遂げた満足感にひたっていた。



●「スポレクぎふ」での太鼓演奏

なお、岐阜県太鼓連盟では、来年行われる第14回国民文化祭・ぎふ99に向け、役員をはじめ各国関係者が一丸となって準備に取り組んでいます。

予定によると、名称は「全国まると民族芸能フェスティバル・和太鼓大会」と銘打ち、平成11年10月24日(日)岐阜羽島市文化センターで行われます。

このフェスティバルには、県外、県内から計35チームが集まり自慢の腕を競います。

原信夫とシャープス&フラッツと 橘太鼓響座が共演、好評を博す

ジャズバンドの大御所、シャープス&フラッツのリーダー原信夫氏の叙勲を記念して、去る9月28日(月)東京・サントリーホールにおいてコンサートが開催され、宮崎県の「橘太鼓・響座」(代表・岩切邦光以下5名)が共演した。

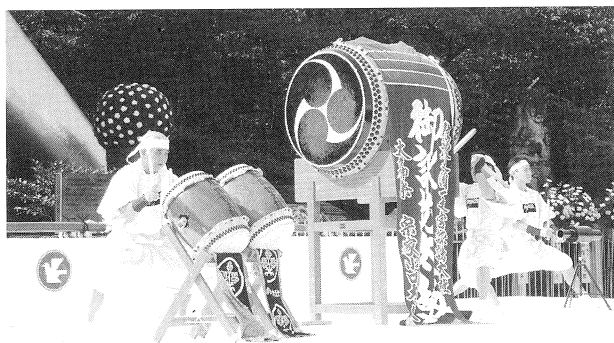
このコンサートは、第一部と第二部に分かれ、第一部は得意のナンバーを中心にシャープス&フラッツの演奏、太鼓は第二部の特別出演として紹介された。第二部は、雪村いずみ、中尾ミエ、ペギー葉山、しばたはつみ、笈田敏夫なども出演している。

シャープス&フラッツと太鼓の演奏は見事に調和され、その力強い鼓動は会場を埋めた2千人の観客を魅了し、万雷の拍手が鳴り止まないほどの熱演であった。

第31回万国戦争受難者慰霊大祭に協力

去る10月11日(日)財団法人全戦争受難者慰霊協会主催による「万国戦争受難者慰霊大祭」が大阪の茨木で開催された。この式典に小口大八氏率いる御諏訪太鼓保存会(総勢3名)が出演、「鎮魂の鼓奉献」として御霊に精魂込めた太鼓演奏を行い出席者から大きな拍手を受けていた。

この式典は、故笹川良一会長の遺訓「世界は一家、人類は兄弟姉妹」の世界同胞的見地のもと、全世界全戦争の受難者の御霊をお慰めし、世界恒久平和を確立するために毎秋、執り行われるもので、今年始めて太鼓を演奏したものである。



●「鎮魂の鼓奉献」を演奏する御諏訪太鼓

各地のボートピアで太鼓が演奏

モーターボートの場外舟券売場として全国で建設が進んでいるボートピアで、そのオープニングを飾って太鼓演奏が行われました。

7/30 ボートピア高城(宮崎)橘太鼓響座

10/14 ボートピア玉川(福島)須賀川松明太鼓

第10回全国太鼓フェスティバルを開催 ーいのちは、鼓動からはじまるー陸前高田

「いのちは、鼓動からはじまる」をキャッチフレーズにした陸前高田恒例の全国太鼓フェスティバルが平成10年10月18日(日)全国太鼓フェスティバル実行委員会主催、(財)日本太鼓連盟等の後援により盛大に開催された。10回目を迎えた本年は、10周年記念国際大会と銘打って海外からヤマサリ(インドネシア・バリ島)、サマヤイ(セネガル)、全徳洙「サムルノリ」(韓国)の3チームが出演し、国際色豊かなフェスティバルとなった。

当日は、台風の影響で早朝からの雨の中、3500人の観客が会場を埋め尽くし熱気溢れる開演となった。俳優の林隆三氏の軽妙な司会により進行し、第1部は海外チームが自国の独特な音楽文化を披露すると観客が立ち上がり拍手するなどステージと観客が一体となる盛り上がりを見せていた。

第2部は日本の太鼓チームが登場。御陣乗太鼓(石川県)、氷上太鼓(岩手県)、新崎樽ばやし(新潟県)、R A N D O「蘭導」(旧大曲太鼓道場・秋田県)、八丈太鼓(東京都)、芸能山城組(東京都)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)、気仙町けんか七夕太鼓(岩手県)のそうそうたるチームが演奏し、盛んに観客の声援と拍手を浴びていた。

関係者の話によると、本フェスティバルは10回目を迎え、地域に同化し、今では全国から演奏を楽しむに陸前高田まで足を運んでくれる人達が増えているとのこと。これからの日本太鼓の普及を考えると、このようなフェスティバルは非常に貴重であり、関係者のご努力とボランティアの皆様にご心から感謝申し上げたい。今後の各地における太鼓による村興し、町興しの良い参考になると思われる。

なお、このフェスティバルが、陸前高田市の知名度アップや経済的波及効果につながり、地域興しの代表例として岩手日報新聞社の選考委員会で「岩手日報文化賞」が授与されることになった。



●熱演する気仙町けんか七夕太鼓

事務局だより

平成10年度事業について

会報3号に記載のとおり、順調に進捗しております、以下、現状をお知らせいたします。

日本太鼓助成事業決定

(日本財団補助事業)

日本太鼓助成金交付規程により申請を受け付け、第4回運営委員会において検討した結果、次の6事業が承認されました。これにより、平成10年度の助成金申請を終了いたします。なお、来年度も実施の予定ですが、今後ガイドラインを定めるなど検討し、事業が確定次第お知らせいたします。

<交付決定事業>

1. ザ・和太鼓フェスティバル IN いんない
(9月13日・平成の森公園内石橋童夢)
大分県太鼓連合
2. 掛合太鼓結成20周年記念フェスティバル
(10月10日・掛合町民体育館)
掛合太鼓保存会
3. 第24回富山の太鼓
(10月18日・高岡市民会館)
富山県太鼓協会
4. 第8回埼玉桴の祭典
(2月14日・加須市文化学習センター)
埼玉県太鼓連盟
5. 第13回国民文化祭おおいだ'98
海の文化フェスティバル(10月25日・大分県マリ
ンカルチャーセンター)大分県太鼓連合
6. 第12回秋田県太鼓フェスティバル
(12月6日・田代町町民体育館)
秋田県太鼓連盟

* 交付金額は各事業20万円

日本太鼓実態調査事業開始

(日本財団補助事業)

会報3号でご案内のように、全国約3,300の地方自治体の協力を得てアンケートによる太鼓に関する実態調査を開始いたしました。反応は極めて良く、予想以上の成果があがると期待しています。

労働大臣より表彰を受ける

群馬県支部で活躍している「まむれ太鼓クラブ」が、前橋市勤労青少年クラブとして活発な活動を行い、その活動内容が他の模範となると認められ平成10年7月18日に労働大臣より表彰されました。

本当におめでとうございました。

会費の納入

平成10年度の会費納入についてかねてからお願いしておりましたが、未だ未納の団体が多く事務処理が遅れております。お心当たりの団体は至急お振込願います。

入会申込の手続き

会報3号でご案内のように、新法人の設立に基づき新たに入会の手続きが必要となります。入会申込書未提出の団体は早急をお願いします。

申請の方法は次のとおりです。

○法人設立時点で県連に加盟している場合

1. 県連に所属している正会員(支部の所属団体)は支部に入会の申請をして、支部の承認を経て支部より財団へ報告することとなります。
2. 特別会員及び賛助会員は必要書類を添付し、財団事務局へ提出して下さい。

○新規入会の場合

1. 団体の所在する県に支部があり正会員として入会を希望する団体は、所在する支部に入会の申請をして下さい。支部の承認が得られれば、支部から財団に報告があり、正会員として登録されます。
2. 特別会員及び賛助会員は必要書類を添付し、財団事務局へ提出して下さい。

* 新規に入会を希望される団体は、財団事務局までお問い合わせ下さい。

会員に対する周知のお願い

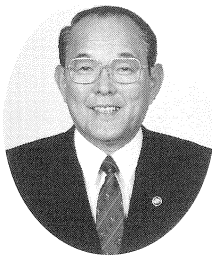
運営委員会の報告にありますように、各会員に対して財団入会のメリット、各種提出書類の締切期限の厳守などを徹底していただくようお願いいたします。また、このたび葉書を作成いたしました。本年2月の長野オリンピック閉会式での演奏写真と、静岡県福祉法人富岳会の知的障害者の2名が書かれた太鼓に関する絵を2枚使用して3種類の葉書を作成しております。ご希望の方には実費でお分けいたしますのでお問い合わせ下さい。

浅野義幸氏 社会貢献者表彰

財団法人日本顕彰会が、社会に貢献された方に対する表彰を毎年行っておりますが、本年の受賞者として当財団理事の浅野義幸氏(石川県)が表彰されることとなりました。同氏の長年に亘る太鼓の製作活動と太鼓の普及活動が評価されたものです。

表彰式は11月9日に東京の全日空ホテルで行われます。本当におめでとうございます。

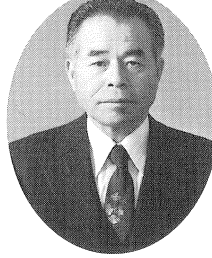
財団法人日本太鼓連盟役員紹介



会 長
吉野 和男
(府中市長)



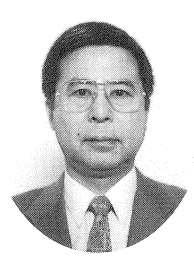
副会長
塩見 和子
(日本音楽財団理事長)



副会長
池田 庄作
(御陣乗太鼓保存会代表)



副会長
小口 大八
(御諏訪太鼓保存会会長)



常務理事
小野 巽
(事務局長兼務)

理 事

(任期：平成10年7月1日から平成12年6月30日まで)

浅野 義幸 (株)浅野太鼓楽器店取締役社長
井関 君夫 埼玉県太鼓連盟会長 (関東代表)
植村 泰一 東京音楽大学理事・教授
大宅 映子 評論家
景山俊太郎 参議院議員
鈴木 俊秋 秋田県太鼓連盟会長 (北海道・東北代表)
中地 洌 全国モーターボート競走施行者協議会理事長
西角井正大 実践女子大学教授
長谷川 義 全九州太鼓連合会長 (九州代表)
クリストファー・マクドナルド 日本ロレックス(株)代表取締役社長
三隅 治雄 (財)日本民族芸能国際交流協会理事長
山内 令子 社会福祉法人富岳会理事長
吉田 貴壽 昭和音楽大学学長
デイビット・ライト 駐日英国大使

監 事

長内 健 弁護士
宮地 真澄 (社)全国モーターボート競走会連合会専務理事

評 議 員

(任期：平成9年11月28日から平成11年11月27日まで)

伊藤 雅俊 (株)イトーヨーカ堂名誉会長
大町陽一郎 指揮者
岡田 知之 洗足学園大学教授
ジョージ・川口 ドラム奏者
北村 汎 三菱商事株式会社顧問
小泉 武夫 東京農業大学教授
河野 和義 岩手県太鼓連盟顧問 (北海道・東北代表)
小久保定郎 三重県太鼓連盟会長 (近畿代表)
高橋 秀雄 日本伝統芸能研究所所長
深沢登志夫 山梨県太鼓連盟会長 (中部代表)
堀田 豊和 富山県太鼓協会相談役 (長野・北陸代表)
松本源之助 江戸里神楽土師流家元
三木 稔 作曲家
宮崎 義政 千葉県太鼓連盟会長 (関東代表)
脇元 勝巳 鹿児島県太鼓連合会長 (九州代表)
(50音順、敬称略)

各地のたより

10月

3(土)スポレクぎふ'98(岐阜)
(岐阜県太鼓連盟350人が出演)
4(日)第1回日本太鼓子供コンクール石川県大会
(石川県・美川町文化会館)
10(土)ドイツ学園(神奈川県横浜市)
(東柏太鼓が出演)
11(日)万国戦争受難者慰霊祭(大阪・茨木市)
(御諏訪太鼓保存会が出演)
18(日)国民文化祭おおいた開会式
(大分市・新大分県立文化ホール)
18(日)平成10年度日本太鼓フェスティバル
(岩手県・陸前高田市民体育館)
24(土)25(日)日本太鼓全国講習会
(長野県・穂高町民会館)
24(土)国民文化祭おおいた・月光の祭典(大分県)
25(日)国民文化祭おおいた・海のフェスティバル(大分県)

11月

1(日)第2回日本太鼓全国フェスティバル
(島根・出雲ドーム)

1(日)第1回日本太鼓子供コンクール大分県大会
(大分・大分県芸術会館)

5(木)岐阜県清見村芸術鑑賞会
(岐阜・清見村中学校体育館)岐阜県太鼓連盟

5~24国際交流事業
(クウェート、カタール、南アフリカ)富岳太鼓

14(土)第1回日本太鼓子供コンクール千葉県大会
(千葉・銚子市体育館)

16(月)~22(日)国際交流事業(ロンドン)八丈太鼓
30(月)ユネスコ世界遺産委員会レセプション(京都)
ゆふいん源流太鼓

12月

18(日)~23(祝)賞金王決定戦競走太鼓公演
(大阪市・住之江競艇場)

18(日)ゆふいん源流太鼓 19(土)御諏訪太鼓保存会

20(日)大場潟乃太鼓保存会 21(日)御陣乗太鼓保存会

22(火)蘭導(旧大曲太鼓道場) 23(祝)天邪鬼

20(日)神宮外苑ロードレース(東京・国立競技場)
全群馬連合太鼓振興会・川口初午太鼓連合会